

地域公共交通活性化セミナー2019in福岡

観光部 資料

平成31年2月19日
国土交通省 九州運輸局
観光部 観光企画課 松原 陽介

ICT等を活用した多言語対応等による観光地の「まちあるき」の満足度向上

観光庁
(参事官(外客受入担当))
:3,050百万円



○ 訪日外国人旅行者の来訪が特に多い観光地等において、公共交通機関の駅等から個々の観光スポットに至るまでの散策エリアについて、ICTも活用して、多言語案内標識や無料エリアWi-Fiの整備、域内の小売・飲食店を挙げたキャッシュレス決済対応等のまちなかにおける面的な取組や、これらと一体的に行う外国人観光案内所や「道の駅」等の機能強化、古民家等の歴史的資源の活用等を集中的に支援し、「まちあるき」の満足度の向上を目指す。あわせて、観光地の災害等の非常時の対応能力の強化を図る。

■観光地のゲートウェイとしての外国人観光案内所等の機能の強化

○情報発信機能の強化



■デジタルサイネージの整備
■VR機器の整備
■多言語音声ガイドの整備
■AI・チャットBotの整備 等

○訪日外国人旅行者への対応力の強化



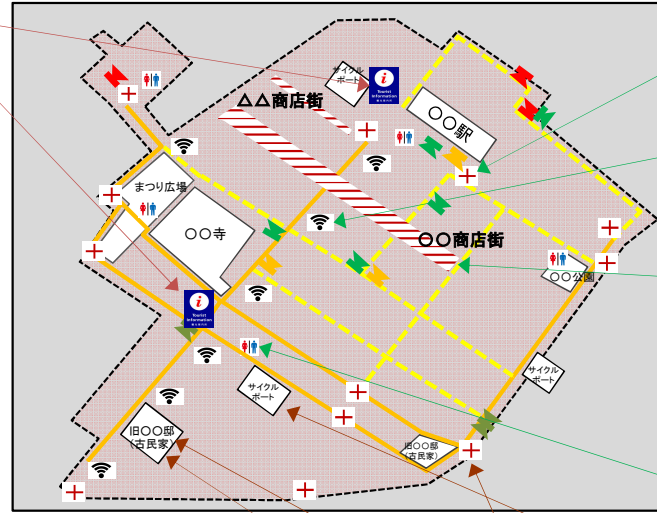
■無料公衆無線LAN環境の整備
■多言語翻訳システム機器の整備
■免税対応端末の整備 等

○外国人観光案内所等の情報提供基盤の強化 ○非常時の対応能力の強化



■施設の整備改良
■案内標識の多言語化
■洋式トイレの整備
■HP・コンテンツ作成
■案内放送の多言語化
■掲示物等の多言語化
■非常用電源装置の整備
■情報端末への電源供給機器等の整備 等

地域の観光スポットに基づいた散策エリアと一体的整備イメージ



地域要件

以下を含む、訪日外国人旅行者の来訪が特に多い、又はその見込みがある観光地として観光庁が指定するもの

- 訪日外国人旅行者の評価が既に高い観光地
- 重要な文化財や国立公園が所在する地域
- 国際的なイベント・会議の開催等により、訪日外国人旅行者の来訪が多く見込まれる観光地

補助率

10分の8、2分の1、3分の1

事業主体

- (1) 地方公共団体(港務局を含む。)
- (2) 民間事業者(公共交通事業者等を含む。)
- (3) 航空旅客ターミナル施設を設置し、又は管理する者
- (4) 協議会等

■まちなかの周遊機能の強化(まるとインバウンド対応)

○まちなかにおける多言語観光案内標識の一体的整備



■ICTを活用した案内標識の整備



■デザインを統一した多言語サイン看板の整備

○無料エリアWi-Fiの整備



■無料公衆無線LAN環境の整備

○地域の飲食店、小売店等における多言語対応・先進的決済環境の整備



■多言語翻訳システム機器の整備
■多言語翻訳用タブレット端末の整備



■先進的な決済環境の整備
■免税店電子化対応環境の整備

○公衆トイレの洋式便器の整備及び清潔等機能向上

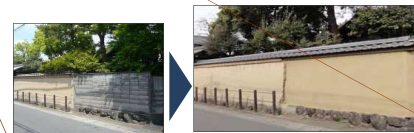


■洋式便器の整備及び清潔等機能向上(光触媒タイルの活用等)

■古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり

文化財・国立公園の周辺地域における歴史的資源のインバウンド整備を支援

○歴史的観光資源の高質化



○シェアサイクルの導入



○電線の地中化や軒下・裏配線等の無電柱化



○古民家等の観光資源化



■「道の駅」インバウンド対応拠点化モデル事業

○ レンタカーを利用したインバウンド観光の先進県である沖縄県内の「道の駅」における取組について、全国のモデル事業とすべく重点的に支援



外国人観光案内所等の整備・改良等
多言語翻訳システム機器等の整備
洋式便器の整備及び清潔等機能向上
空車・満車情報の多言語化
インバウンド向けの体験メニューの開発

※ その他、「道の駅」の管理者、運営者、観光関係者、「道の駅」施設内の民間事業者等からなる協議会により策定される計画の内容を含む。



ホームページの多言語化 等

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業

観光庁(参事官(外客受入担当))
:5,474百万円

○全国各地の観光地において、訪日外国人旅行者がストレスフリーで快適に旅行できる環境を整備するため、地方自治体や民間事業者等が行う外国人観光案内所の機能強化、トイレの洋式化、公共交通機関の移動円滑化、旅館・ホテルのバリアフリー化等の個別の取組を支援する。あわせて、外国人観光案内所等の災害等における非常時の対応能力の強化を図る。

地方での消費拡大に向けたインバウンド対応支援事業

- 外国人観光案内所等の整備・改良等及び災害等の非常時対応の強化
- 公衆トイレの洋式便器の整備及び機能向上
- 手ぶら観光カウンターの機能向上
- 多様な宗教・生活習慣への対応力の強化

・外国人観光案内所等の整備・改良等及び災害等の非常時対応



・公衆トイレの洋式便器の整備及び機能向上



・手ぶら観光カウンターの機能向上



・多様な宗教・生活習慣への対応力の強化



宿泊施設インバウンド対応支援事業

○基本的ストレスフリー環境整備

- ・Wi-Fiの整備
- ・案内表示の多言語化
- ・決済端末の整備



・自社サイト多言語化等



・ムスリム受入マニュアル作成



○バリアフリー環境整備

- ・トイレのバリアフリー化
- ・手すりの設置
- ・段差解消(エレベーター等)
- ・出入口の改修



交通サービスインバウンド対応支援事業

- 多言語表記、多言語案内用タブレット端末の整備
- 旅客施設や車両等の無料Wi-Fi整備
- 旅客施設や車両等のトイレの洋式化及び機能向上
- 全国共通ICカード、QRコード決済等の導入
- 旅客施設や車両等の移動円滑化

・多言語表記等



・多言語案内用タブレット端末等の整備



・無料Wi-Fiの整備



・トイレの洋式化及び機能向上



・全国共通ICカード、QRコード決済等の導入



・移動円滑化



実証事業

- 災害発生時における外国人観光案内所の初動対応マニュアルの作成
- ナイトタイムエコノミー等の新たなニーズに対応した交通サービスの推進に向けた調査

補助率

定額、2分の1、5分の2、3分の1、4分の1

事業主体

- (1) 地方公共団体(港務局を含む)
- (2) 民間事業者(公共交通事業者等を含む。)
- (3) 航空旅客ターミナル施設を設置し、又は管理する者
- (4) 協議会等

インフラを始めとした地域資源を活用したコンテンツの造成事業

- インフラを始めとした地域の観光資源のインバウンド対応を行い、新たなツアー造成を図ることで新たな観光需要の創出を図るとともに、クルーズ旅客等の満足度向上・消費拡大を促進する。

【事業内容】

- 以下のインバウンド向けのツアー造成に向け、多言語案内板・Wi-Fi環境の整備、洋式トイレの整備、見学エリア拡大に伴う安全対策、VR等を活用した体験型コンテンツの作成、ファミツアー等を実施する。

①世界に誇る日本の土木技術等を観光資源として活用するインフラツーリズム

【対象予定地域：首都圏外郭放水路・八ッ場ダム・宮ヶ瀬ダムなどインバウンド需要が見込める施設】

②クルーズ旅客等が利用する港湾周辺での水上交通及び地域の資源を活用したツアー（直轄事業、補助事業※）

【対象予定地域：第二海堡（東京湾）や水上交通でつながる地域の観光資源】

※補助事業 国費率：1/3、補助対象事業者：港湾管理者、地方自治体、民間事業者

インフラを観光資源として活用するインフラツーリズム

首都圏外郭放水路



首都圏外郭放水路の一般見学

宮ヶ瀬ダム



観光放棄

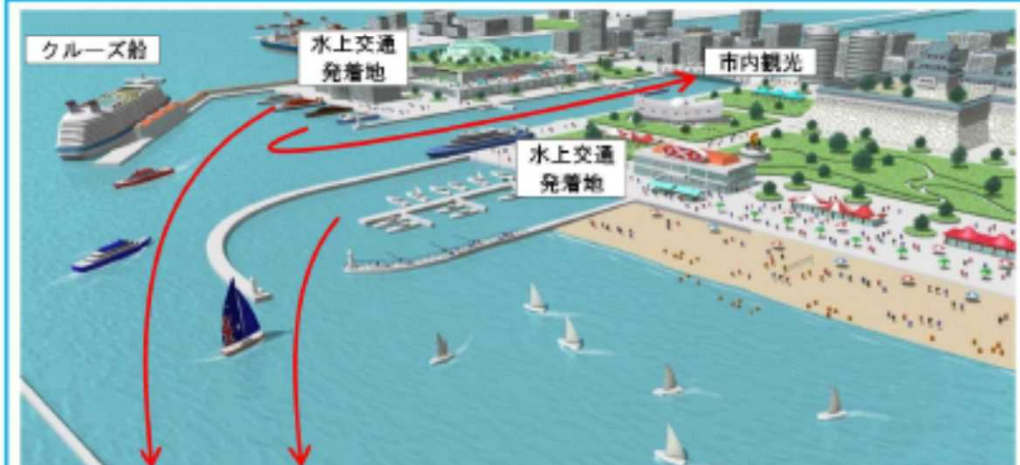
八ッ場ダム



工事中の現場見学



水上交通及び地域の観光資源を活用したツアーイメージ



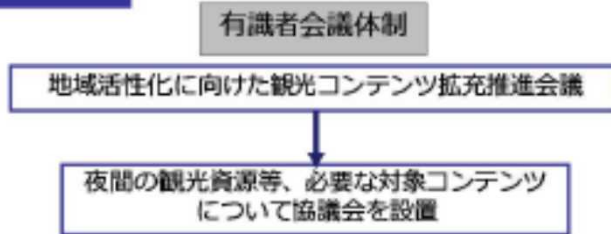
第二海堡（東京湾）や離島等の地域の観光資源



第二海堡周辺のトリアルツアー

○ 2020年の訪日外国人旅行消費額 8 兆円の目標達成に向け、世界での「コト消費」最高水準を目指すため、訪日観光における消費拡大が期待できる新たな観光コンテンツや潜在的コンテンツを、民間事業者とともに開拓・育成する。

事業概要



- 有識者会議において新たな観光コンテンツ（公募対象事業）を選定。
- 各展開事業は、担当の有識者が伴走し、有識者と共に官民連携して新コンテンツを作り上げ。

H31年度新規コンテンツ

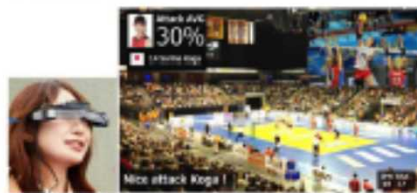
- ①H30年度実施の新たな観光コンテンツ開拓のための基礎マーケティング調査結果の詳細な分析
- ②有識者会議において選定されるコンテンツを対象に、課題抽出等に係る調査事業や拡充のための展開事業
- ③取組拡大のためのガイドラインの策定・優良事例の展開

H30年度からの継続コンテンツ

- ④情報発信コンテンツ造成・発信媒体の選定
- ⑤情報発信・観光コンテンツ情報提供

平成30年度実施概要

- インバウンド向けARスポーツ観戦（横浜アリーナ）
- 通年でのビーチウェディング（沖縄）



- お祭りの外国人受入れ(教父)



- 温泉による美容改善体験（玉造温泉）



- 夜間の体験コンテンツ造成(石見神楽)



(全16件を実施)

平成31年度実施予定事業

- 最先端ICTを活用した観光



(観光名所の成り立ちをみせる等ストーリー性の高いVR)

- 夜間の観光資源



(森林の夜間活用)

- 潜在的な観光資源



(高付加価値・長期滞在向けアグリツーリズム)

- 地方の医療・観光資源の活用



全国各地で世界的な競争力を有する魅力ある観光地域づくりを促進するため、①全国の優良なDMOの体制を強化し、世界水準のDMOの形成を促進するとともに、②国とDMOが連携し、訪日グローバルキャンペーンに活用できる優良なコンテンツの造成を推進する。

【1】DMOの体制に対する支援

世界水準のDMO形成促進事業

【事業内容】

インバウンドに対応したマネジメント体制が確立されたDMO（※）を対象に、以下の支援を実施。

- ※観光資源の所有者、宿泊事業者、アクティビティー等の事業者、旅行会社、交通事業者等のディステーションの関係者が体制に含まれていること。
- ※安定的かつ自立的な経営の確保が行われていること。

- ①インバウンドにより地域全体の経済効果を高めるための投資戦略やビジネスモデルを確立するための外部専門人材の登用
- ②OJT派遣や視察による中核人材の育成

DMOが重点的に求められる専門性

外国人旅行者に選好される
魅力的なコンテンツの開発・強化

外国人旅行者が快適かつ安全に
周遊・滞在できる**受入環境の整備**

**※地域の関係者による計画策定や
役割分担が行われていることが要件**

JNTOが専門性を発揮した上で、それを補完する
役割を担う観点から求められる場合の副次的な専門性

- ・インバウンドに関する**データ分析・誘客戦略の策定**
※事業内容について、JNTOの確認を受けるとともに、JNTOと連携して実施することが要件
- ・国外向けの戦略的な**情報発信・プロモーション**
※プロモーション方針についてJNTOの確認を受けることが要件

【2】DMOと連携したコンテンツ造成の取組に対する支援

訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

【事業内容】

訪日グローバル・キャンペーン（JNTO）に対応したコンテンツが、特に地方部をはじめとして、**全国的に不足している**状況を踏まえ、地方運輸局とDMOが連携して、訪日グローバルキャンペーンに活用できる**新たな滞在型コンテンツを全国各地に創出**することが必要であることから、以下の取組を実施。

- ①事業対象の地域資源に関する調査
- ②地域資源を活用したコンテンツの企画・立案
- ③モデルツアーの実施

実施主体：地方運輸局（DMOと連携）

【想定されるコンテンツ例】



フットパスツーリズム

- 【概要】
・里山、石橋、棚田等、日本の昔ながらの原風景を活かし、地域住民と触れ合いながら歩く旅行商品の開発
- 【場所】
・熊本県美里町



酒蔵ツーリズム

- 【概要】
・酒蔵と観光資源を巡るスタンプラリーの実施や、地酒の販売を行い、地酒と地域が持つ文化や歴史を合わせて国内外へ情報発信
- 【場所】
・佐賀県鹿島市

- 観光庁は、①文化庁・環境省と連携してわかりやすく魅力的な多言語解説文を作成できる英語のネイティブライター等の専門人材をリスト化し、②地域に派遣し解説文の作成を支援。及び、③解説文作成のノウハウを蓄積し、他地域へ横展開できるようガイドラインを作成。
- 文化庁においては世界文化遺産や国宝・重要文化財等について、環境省においては国立公園について、最先端技術も駆使しながら外国人に魅力ある観光ストーリーを多言語発信支援。

観光庁：地域観光資源の多言語解説整備支援事業

※Writer/Editorを派遣し、文化財の魅力ある多言語解説文の作成支援



※タッチパネル式解説板による案内（日本語音声・多言語字幕）。



専門人材



- ①ネイティブ専門人材のリスト化
- ②解説文の作成費用 100地域程度
- ③ガイドライン作成

※Writer/Editorを派遣し、国立公園の魅力ある多言語解説文の作成支援



※2次元コードによる自然資源の多言語解説の整備（多言語音声・テキスト）。

文化庁：世界文化遺産や国宝・重要文化財等

- ・ 地域の文化財を一体的に整備・支援
- ・ 観光資源としての価値を高める美装化への支援
- ・ 文化財の魅力を伝える案内板・解説板の設置



環境省：国立公園34公園

- ・ 登山道やビジターセンター、トイレ等基盤的な利用施設の整備
- ・ 自然を活かした体験型コンテンツの充実、ガイド人材の育成
- ・ 国立公園の魅力を伝える案内板・解説板の設置



○ 訪日外国人旅行者等の各地域への周遊を促進するため、調査・戦略策定からそれに基づく滞在コンテンツの充実、広域周遊観光促進のための環境整備、情報発信・プロモーションといった、地域の関係者が広域的に連携して観光客の来訪・滞在促進を図る取組に対して総合的な支援を行う。

支援制度

・補助対象事業：

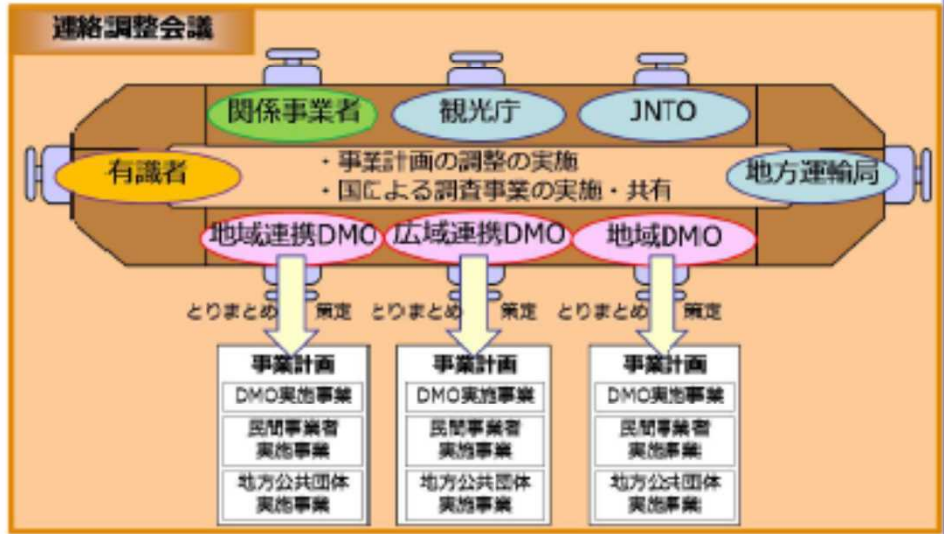
各DMO策定の事業計画に位置づけられた訪日外国人旅行者の誘客を目的とする以下の取組（ただし、地方ブロック毎に開催される連絡調整会議における調整を行ったものに限る）

※DMO（観光地域づくりの舵取り役）：Destination Management/Marketing Organization

- ①調査・戦略策定
- ②滞在コンテンツの充実
- ③広域周遊観光促進のための環境整備
- ④情報発信・プロモーション

具体的な支援イメージ

<p>データに基づき、訪日外国人旅行者に対して訴求力のある各種取組を実施するための調査・戦略策定に係る取組に対して支援。</p>	<p>マーケティング調査</p>	<p>調査結果や策定された戦略に基づき、訪日外国人旅行者の滞在の促進に繋がるコンテンツの充実に係る取組に対して支援。</p>	<p>クルーズ船を活用したコンテンツの開発</p>
<p>滞在コンテンツの充実とあわせて、エリア内での周遊を促すための環境整備に係る取組に対して支援。</p>	<p>二次交通検索サイトの整備</p>	<p>調査結果や策定された戦略に基づき、エリア内のコンテンツの魅力や周遊を促すための受入環境に関する情報の効果的な発信に係る取組に対して支援。</p>	<p>SETOUCHI ISLAND HOPPING - S...</p>



・補助対象者：
事業計画に位置づけられた事業の実施主体
（訪日外国人旅行者のニーズに応える取組を行うDMOその他民間事業者、地方公共団体）

・補助率：
定額（調査・戦略策定）
事業費の1/2（滞在コンテンツの充実、広域周遊観光促進のための環境整備、情報発信・プロモーション）

※継続事業については2年目:2/5、3年目:1/3

地域の観光資源を活用したプロモーション事業

- 地域の観光資源について熟知している地方運輸局が、自治体や地域の交通事業者を含む民間等と広域かつ機動的に連携して行う **訪日プロモーション事業**。
- 政府として積極的に取り上げていく観光資源等を、J N T Oのノウハウ等を活用しつつ戦略的なプロモーションを行うことで、魅力ある地域の観光資源を効果的に発信し、**地方部への訪日外国人旅行者の誘客を加速**させる。

